

2025 年 6 月 30 日
株式会社パスコ

(報道資料)

市場占有率分析に複数店舗の一括処理機能を追加、分析効率が向上 - エリアマーケティングツールをバージョンアップ -

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、以下：パスコ）は、小売・飲食・サービス業における出店や販促活動を支援するエリアマーケティングソリューション「MarketPlanner（マーケットプランナー）シリーズ」を展開しています。

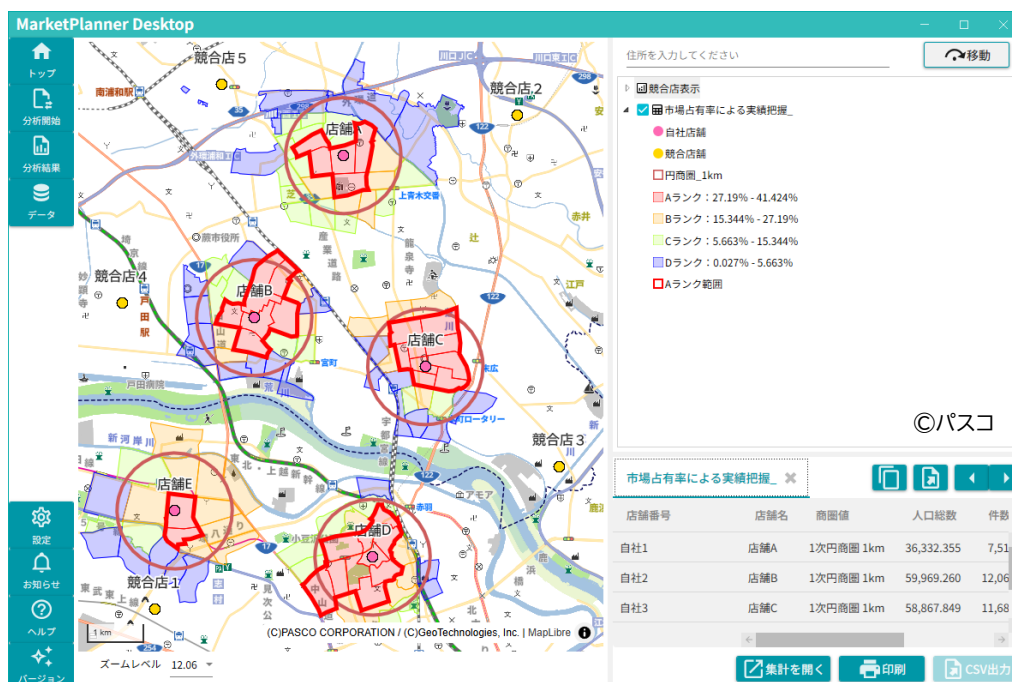
このたび、シリーズの一つである商圈分析ツール「MarketPlanner Desktop（マーケットプランナー・デスクトップ）」の市場占有率分析機能に「複数店舗の一括処理」を追加し、さらにレポート機能に消費支出額が確認できる“マーケットサイズ”を追加した新バージョンを、2025 年 6 月 30 日にリリースいたします。

■ 顧客データを保有する業態に向けた分析効率の向上 <市場占有率分析機能を強化>

小売業・飲食・サービス業の営業企画や販売促進部門などでは、顧客データを活用して店舗の市場占有率を確認しています。そのため、エリアマーケティングツールの多くに市場占有率の分析機能が備わっています。しかしながら、一店舗ごとでしか分析できないことが多く、パスコにも効率の向上を求める声が寄せられていました。

パスコは、こうした利用者の声に応え、今回、複数店舗の市場占有率を一括で分析する機能を追加しました。この機能強化によって、店舗数が多くても手間なく、短時間で変化の大きいエリアや課題店舗の特定などがおこなえます。

さらに、会員カードを導入しているスーパーマーケットや家電量販店などでは、会員データを地域分析に使用することで競合出店前後の顧客の流入出を可視化し、店舗戦略の再構築などに活用いただけます。



市場占有率の複数店舗一括処理イメージ

株式会社パスコ

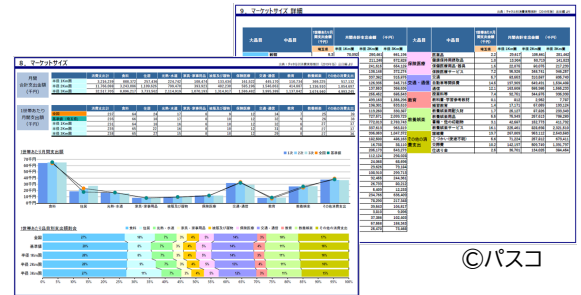
www.pasco.co.jp

本社：153-0064 東京都目黒区下目黒 1-7-1 パスコ目黒さくらビル
代表電話番号：03-5722-7600

■ 売上ポテンシャルの高い商圏の見極めを支援 <消費支出推計データを追加し立地特性レポートを強化>

「MarketPlanner Desktop」には、レポート機能の一つとして“戦略作成立地特性レポート”を搭載しています。この機能に消費支出推計データを追加し、“マーケットサイズ”情報の確認ができるようになりました。地域住民の特性を把握しながら、店舗利用の可能性やポスティング・折り込み広告の有効性などの検討がおこなえます。

食料・家具・家事用品といったカテゴリ別の消費支出額を確認できるため、エリア内の購買力を把握し、売上ポテンシャルの高い商圏の見極めに役立ちます。



©パスコ

立地特性レポートに追加された“マーケットサイズ”情報

エリアマーケティング活用セミナーを開催

「MarketPlanner Desktop」の新バージョン発表に合わせ、Web セミナー（動画配信）を開催します。出店に関わる売上予測や既存店全店の市場分析などに課題をお持ちの店舗開発や企画・推進担当の皆様、この機会にぜひご視聴ください。

Web セミナー（動画配信）

「出店戦略と市場分析を加速する！MarketPlanner Desktop 活用セミナー」

視聴可能期間：7月7日（月）から13日（日）まで

下記 URL よりお申し込みください。

https://pd.pasco.co.jp/MarketPlannerDesktopSeminar_202507

■ MarketPlanner Desktop について

「MarketPlanner Desktop」は、地図と国勢調査などの統計データを活用した GIS ツールです。特別なスキルがなくても、誰でも簡単に商圏分析や売上予測できるのが特長です。出店計画、販売促進、拠点配置の検討をスピーディかつ的確にサポートします。

サービス紹介ページ：<https://www.pasco.co.jp/biz/app-soft/marketplanner/mpd/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

（報道機関）

広報部

（お客様）

システム事業部

<https://www.pasco.co.jp/>

press@pasco.co.jp

<https://pd.pasco.co.jp/l/915541/2025-05-08/p4xrk>

プレスリリースの内容は発表時のものです